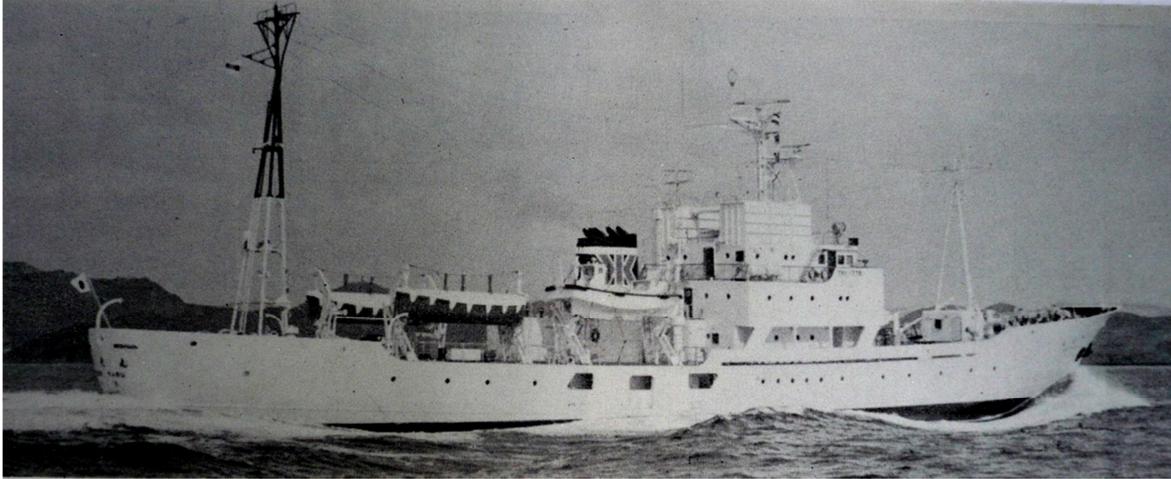
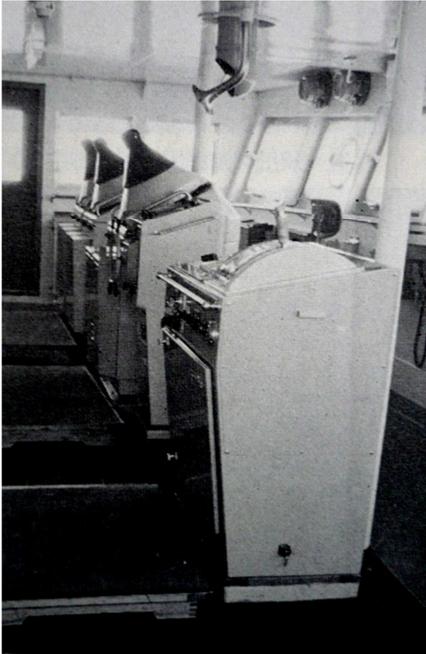


## 昭和46年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

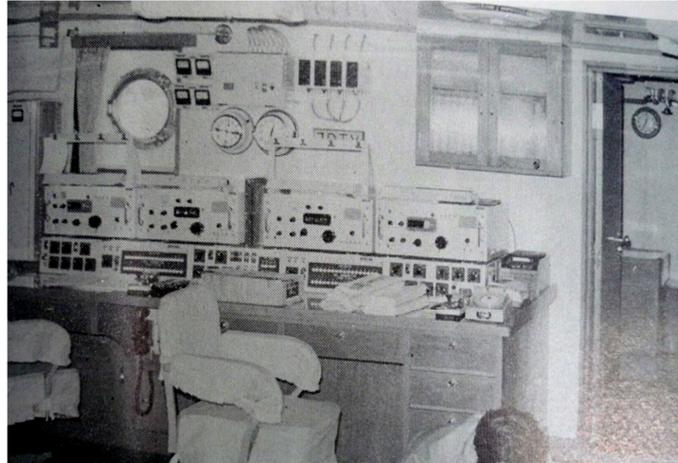
1) W46-01 東光丸 全景



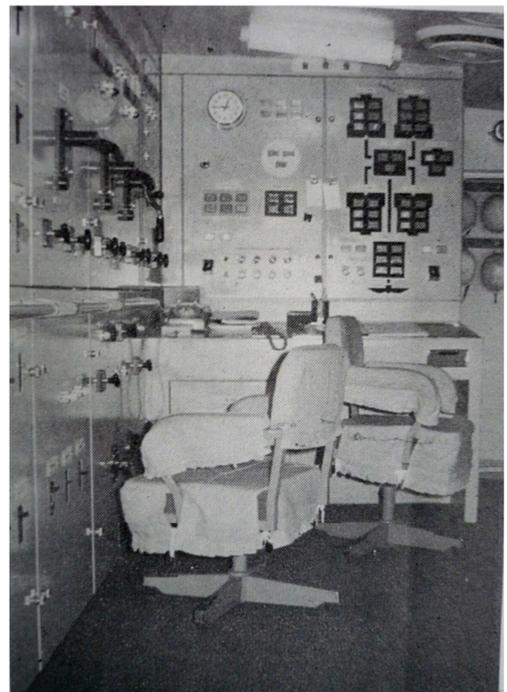
2) W46-02 東光丸 操舵室



3) W46-03 東光丸 無線室



4) W46-04 東光丸 機関制御室



1. 「東光丸」 1)～4) は「船の科学」1971-5 (Vol.24 No.5) より採取。

- ・本船は水産庁 漁業取締船 東光丸 総トン数 1,490.69 T
- ・船主 : 水産庁
- ・建造 : 林兼造船(株) 長崎造船所  
昭和46年2月28日 竣工

- ・ 1) は本船全景。珍しい船である。
- ・ 2) は 操舵室、手前より主機推進器操縦装置、操舵スタンド、レーダ 3台
- ・ 3) は 無線室、見えているのは受信機室。
- ・ 4) は機関制御室。

2. 「栄光丸」 5)、6) は「船の科学」1971-7 (Vol.24, No.7) より採取。

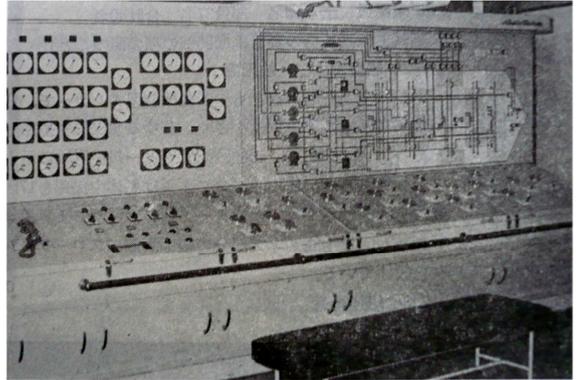
- ・本船は超大型タンカー 栄光丸 DWT 231,299kt
- ・船主 : 三光汽船(株) ・建造 : 日立造船(株) 堺 昭和46年4月25日 竣工

・5) は本船全景、6) は 貨物油荷役制御室のコンソールで、右半分は 配管系統図が表示されている。

5) W46-05 栄光丸 全景



6) W46-06 栄光丸 貨物油荷役制御室



3. 「ATTICA 号」 7)、8) は「船の科学」1971-8 (Vol.24, No.8) より採取。

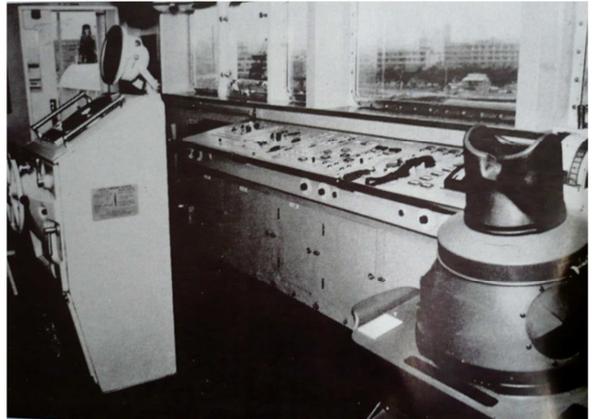
- ・本船は FORTUNE 型 多目的貨物船 第1船 ATTICA 号 DWT 22,295 Lt
- ・船主 : ATTICA SHIPPING COMPANY 社
- ・建造 : 石川島播磨重工業(株) 東京第2工場 昭和46年6月 竣工

・7) は本船全景、8) は操舵室で 右側にレーダ指示器、左に操舵スタンド、その前に コンソールが見える。

7) W46-07 ATTICA 号 全景



8) W46-08 ATTICA 号 操舵室



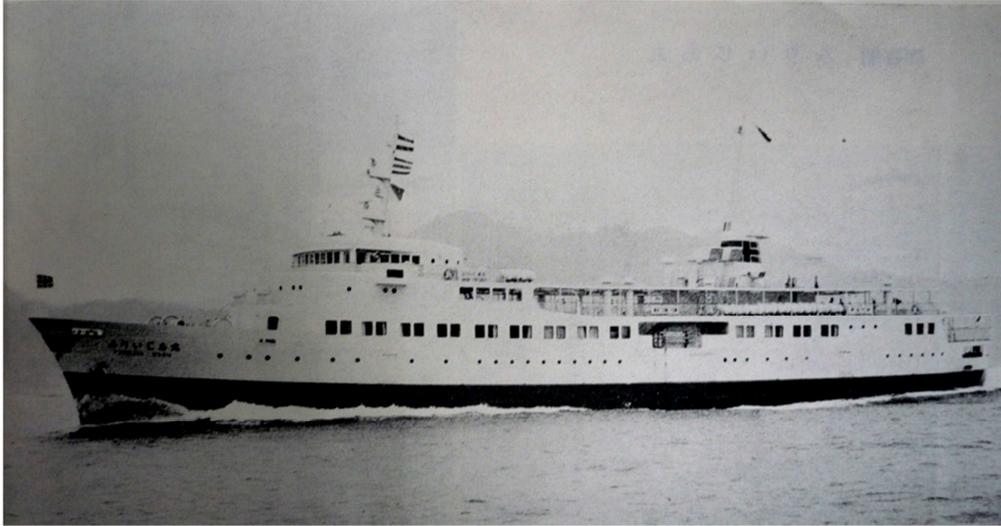
4. 「ふりいじあ丸」 9) ~ 11) は「船の科学」1971-9 (Vol.24, No.9) より採取。

- ・本船は 旅客船 (近海) ふりいじあ丸 総トン数 2,286.30 T 旅客定員 613名
- ・船主 : 船舶整備公団、 東海汽船
- ・設計/建造 : (設計) 日立造船 (株) (建造) 田熊造船 (株) 昭和46年6月2日 竣工

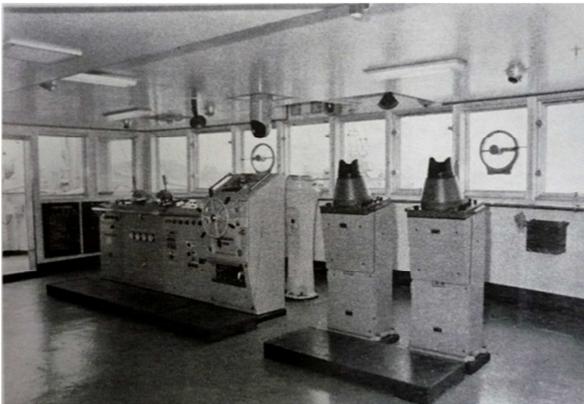
・9) は本船全景、旅客船ということで取り上げた。10) は操舵室で、すっきりした配置である。

11) は無線室で、ラック型の受信卓が設けられている。

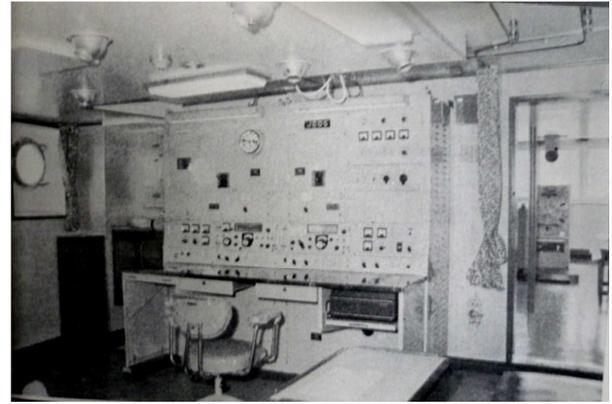
9) W46-09 ふりいじあ丸 全景



10) W46-10 ふりいじあ丸 操舵室



11) W46-11 ふりいじあ丸 無線室



5. 「日石丸」 12)～16)は「船の科学」1972-1 (Vol.25, No.1) より採取。

- ・本船は東京タンカーの 日石丸で DWT 372,698 kt、当時、世界最大と云われた。
- ・船主 : 東京タンカー (株)
- ・建造 : 石川島播磨重工業 (株) 呉造船所 昭和46年9月8日 竣工
- ・12) は本船の全景、37万トンはさすがに大きい。後部の 居住区の上の 操舵室が 小さく見える。 船の大きさは 全長 347.0m 型巾 54.5m, 型深 35.0m である。

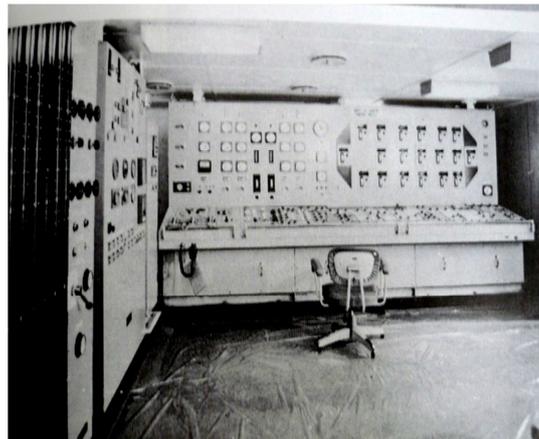
12) W46-12 日石丸 全景



13) W46-13 日石丸 操舵室

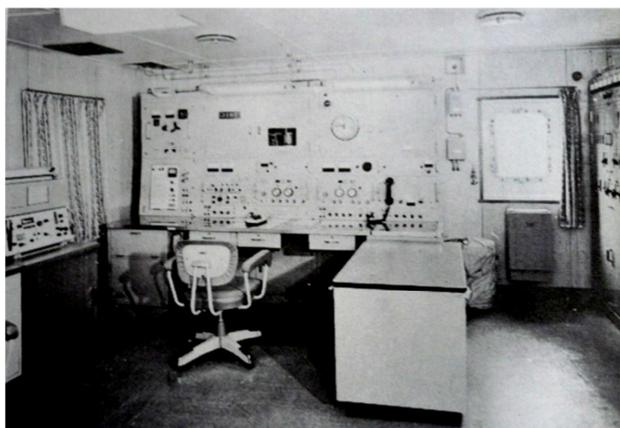


14) W46-14 日石丸 荷役制御室

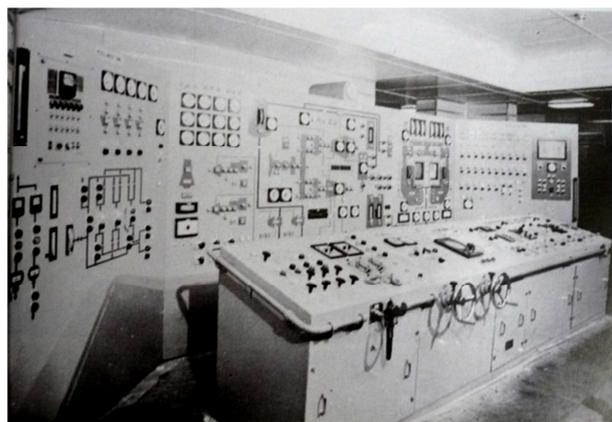


- 13) は操舵室で、Chart Space とは カーテンで仕切られている。手前に見えるのは 主機操縦台。
- 14) は荷役制御室である。コンソールの右半分にはタンク配置図が表示されている。
- 15) は無線室で、正面に見えるのは 受信卓である。
- 16) は機関制御室である。メータやスイッチが沢山付いたコンソールやパネルが見える。

15) W46-15 日石丸 無線室



16) W46-16 日石丸 機関制御室



6. 「鎌倉丸」 17) ~ 21) は「船の科学」1971-12 (Vol.24, No.12) より採取。

- 当時、世界最大のコンテナ船 鎌倉丸 DWT 35,406 kt (全長 261.0 m 型巾 32.2 m 型深 24.0 m)  
主機はタービン 2基2軸 40,000ps × 2 コンテナ積載数 1838 個 (184 個) ( ) 内は冷凍コンテナ数
- 船主 : 日本郵船 (株) ・建造 : 三菱重工業 (株) 神戸造船所 昭和46年11月20日 竣工

17) W46-17 鎌倉丸 全景

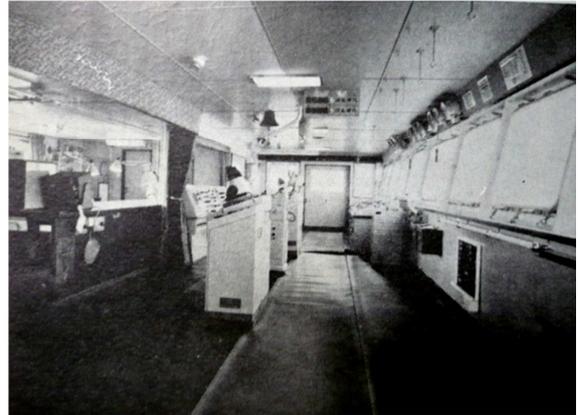
- 17) は本船の全景、 当時世界最大のコンテナ船と云われた。
- 18)、19) は 操舵室。海図室とはカーテンで仕切られている。かなり広い操舵室である。
- 20) は海図室である。
- 21) は機関制御室で、メータと主機操縦ハンドルを組み込んだコンソールが見える。コンソールの上のパネルは鮮明ではないが、機関プラント (タービン× 2) を表す MIMIC である。



18) W46-18 鎌倉丸 操舵室



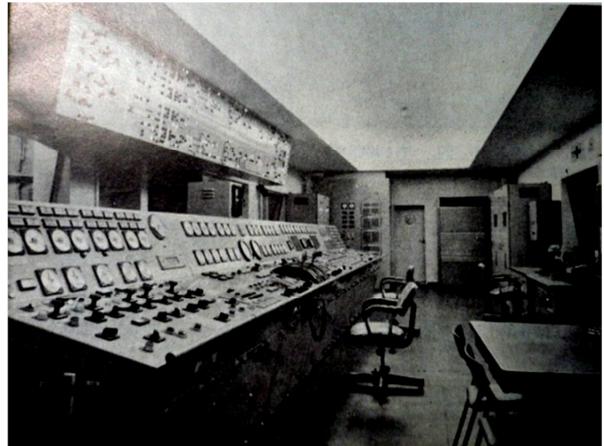
19) W46-19 鎌倉丸 操舵室 (左側 海図室)



20) W46-20 鎌倉丸 海図室



21) W46-21 鎌倉丸 機関制御室



7. 「光珠丸」 22)、23) は「船の科学」1972-2 (Vol.25, No.2) より採取。

- ・ 26次油槽船 大型タンカー 光珠丸 (MITSUTAMA MARU) DWT 222,139 kt
- ・ 船主 : 山下新日本汽船 (株)
- ・ 建造 : 佐世保重工業 (株) 佐世保造船所 昭和46年9月2日 竣工

- ・ 22) は本船全景、20万トンを超えるとやはり大きい。
- ・ 23) は操舵室、海図室と一体となっている。レーダ、ブリッジ・コンソールが見える。チャート・テーブル上は 無線方位測定機。
- ・ 24) は機関制御室、コンソールと ENG.ROOM 監視用の窓が見える。右側は配電盤。
- ・ 25) は荷役制御室、パネルの垂直面にはメータ類、水平面にはバルブ制御用のスイッチが灑かれている。

22) W46-22 光珠丸 全景



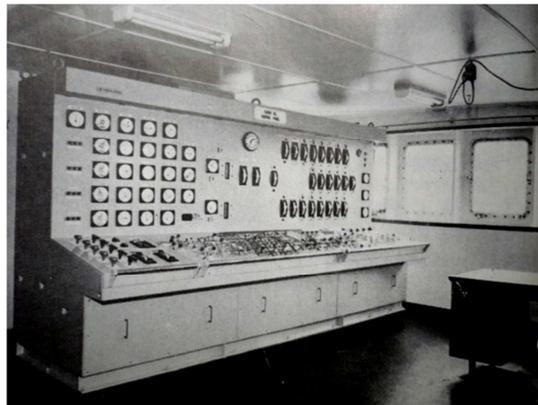
23) W46-23 光珠丸 操舵室



24) W46-24 光珠丸 機関制御室



25) W46-25 光珠丸 荷役制御室



8. 「二見丸」 26) ~ 28) は「船の科学」

1972-2 (Vol.25, No.4) より採取。

- ・定期貨物船 二見丸 DWT 12,517 kt
- ・船主 : 日本郵船 (株)
- ・建造 : 日立造船 (株) 向島工場  
昭和46年10月20日 竣工

- ・26) は本船全景、貨物船らしい写真である。
- ・27) は操舵室、中央に操舵スタンド、両舷にレーダが配されている。 28) は機関制御室である。

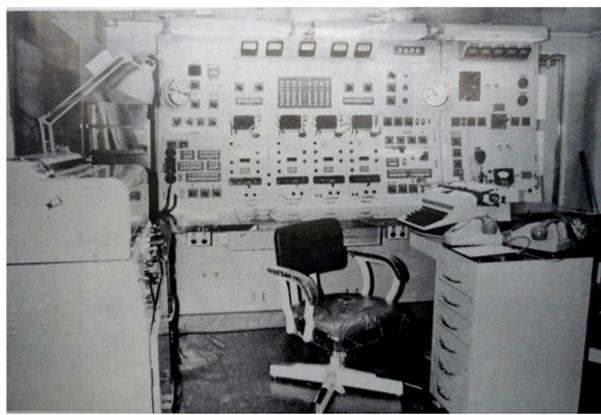
26) W46-26 二見丸 全景



27) W46-27 二見丸 操舵室



28) W46-28 二見丸 機関制御室



[メモ]

- 1) 漁業取締船 東光丸が建造された。取締船だからか、レーダが3台あり、無線室の機器も多い。
- 2) タンカー 日石丸 DWT 37万トンが建造された。当時、世界最大。
- 3) 昭和42年の FREEDAM に続く多目的貨物船 FORTUNE (DWT 23,000 トン) の建造が IHI にて始まった。
- 4) 世界最大のコンテナ船 鎌倉丸が建造された。
- 5) この頃より、人工衛星を利用した測位システム (NNSS: Navy Navigation Satellite System) が普及し始めた。